

# 平成30年度山田町決算報告

# 町財政の現状

平成30年度の町の決算がまとまり、12月24日に開かれた議会定例会で、原案のとおり認められました。皆さんが納めた税金などがどのように使われたのかお知らせします。  
※記事中の金額表記は1万円未満を切り捨てています。

## 町財政の現状は健全

財政は健全です。しかし、少子高齢化、人口減少が予想される中、町税をはじめとする収入は減少の可能性もあります。今後も限りある財源の効率的な活用を図りながら健全性を維持していきます。

### ■健全化判断比率の4つの指標は良好

自治体の財政状況を判断する「健全化判断比率」の指標はすべて良好な状態です。

指標	山田町	早期健全化基準
実質赤字比率 一般会計を中心とした赤字の割合	赤字なし	15%
連結実質赤字比率 一般会計、特別会計、企業会計を 合わせた赤字の割合	赤字なし	20%
実質公債費比率 年間の借金返済額の割合	7.8%	25%
将来負担比率 将来の負担となる借金の割合	負担なし	350%

※早期健全化基準の数字を上回ると、財政健全化への取り組みが必要になります。

### ■財政力指数は県内町村平均とほぼ同じに

**財政力指数 0.31**

標準的な行政サービスにかかるお金を、町税などの収入で賄える割合。数字が大きいほど必要なお金を自治体自らが賄えていることを示します。県内町村の平均は0.30、本町は33市町村中19番目に位置しています。

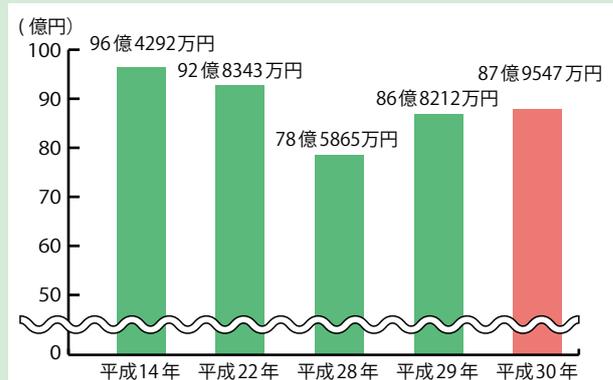
### ■基金などの状況

**残高 264億5345万円**

基金とは町の貯金です。まちづくりや産業の振興などの使い道を決めたお金や、財源の過不足を調整するときに使います。平成30年度末の基金残高は、財政調整基金41億1894万円など計19基金の合計額264億5345万円となっています。

### ■町債残高の状況

町債とは町の借金のことです。長期的にみると、緩やかに減少しています。



### ■経常収支比率は昨年から1.6ポイント増

**経常収支比率 88.6%**

経常収支比率は、人件費や福祉の費用、借金の返済などが町税といった定期的な収入に占める割合。100%を基準として、比率が低いほど自由に使えるお金が多いことを示します。県内市町村の平均は91.3%です。

将来を見据えてお金をやりくりすることが重要だね。将来困らないように健全な財政を維持したいね。



# ●平成30年度決算の状況（一般会計）

一般会計とは、福祉や教育、道路整備など行政の基本的な事業の会計のことです。決算の総額を前年と比較すると、歳入は79億7016万円の増加、歳出は91億549万円の増加となりました。

**歳入総額 384億3218万円**

前年度比79億7016万円の増（26.2%の増）

**歳出総額 363億6104万円**

前年度比91億549万円の増（33.4%の増）



※1万円未満を切り捨てているため、合計などが一致しないところがあります。

# ●平成30年度決算の状況（特別会計）

特別会計とは、特定の事業を行う場合や特定の収入で事業を行う必要がある場合に、一般会計と区分して経理をするため、条例で設置している会計です。特別会計で管理することで▶受益と負担の関係や事業ごとの収支をより明確にすることができる▶適正な受益者負担、事業収入の確保や歳出削減努力を進めることができる——などのメリットがあります。

(単位：千円)

区分	国民健康保険特別会計 (事業勘定)	後期高齢者医療特別会計	介護保険特別会計 (事業勘定)	介護保険特別会計 (サービス事業勘定)	漁業集落排水処理事業特別会計	公共下水道事業特別会計
歳入	2,341,275	172,900	1,838,055	2,339	158,295	371,798
歳出	2,275,102	172,426	1,755,175	1,737	154,117	369,896
差引	66,173	474	82,880	602	4,178	1,902